

王子総合 高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 外国語(英語) 科目 論理・表現Ⅰ

教 科： 外国語(英語) 科 目： 論理・表現Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：

使用教科書：（BIG DIPPER English Logic and Expression 数研出版）

教科 外国語(英語) の目標：

【知識及び技能】目的や場面、状況に応じて適切に外国語を活用できる知識及び技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】日常的、社会的な話題について相手の意図を理解したり、自らの考えを表現したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】主体的・自律的に外国語の知識を獲得し、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 論理・表現Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の知識や技能を身につけるとともに、他国の言語や文化についての理解を深めることができる。	得られた知識・技能を活用し、必要な情報を収集し、自分の考えをまとめ、他者に自分の意見を正しく伝えることができる。	国際化が進む中、言葉や文化の異なる人々と互いの立場を尊重し、コミュニケーションを深め、共存していくことができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 〔 や 〕	話 〔 発 〕	書					
Lesson 1 はじめに① 「だれが」「～する」をはっきりと 【知識及び技能】 英語の主語の使い方を理解し、適切に補うことができる。 【思考力・判断力・表現力等】 場面や目的に応じて、主語を補い、自分の考えを伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 英語の主語の使い方に自ら関心を持ち、英語で伝える意欲を高めることができる。	①日本語で主語が示されない場合 ②日本語で「～は」「～が」と表現される語句が、英語では主語に相当しない場合 ③天候・時間・距離・明暗などを表す場合 には、英語でどのような表現を用いるのかを確認し、問題を解く。 ①日本語で主語が示されない場合 ②日本語で「～は」「～が」と表現される語句が、英語では主語に相当しない場合 ③天候・時間・距離・明暗などを表す場合 には、英語でどのような表現を用いるのかを理解し、それらを用いて習慣や天気などについて英作文や会話をする。	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 ①日本語で主語が示されない場合 ②日本語で「～は」「～が」と表現される語句が、英語では主語に相当しない場合 ③天候・時間・距離・明暗などを表す場合には、英語でどのような表現を用いるのかを理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 ①日本語で主語が示されない場合 ②日本語で「～は」「～が」と表現される語句が、英語では主語に相当しない場合 ③天候・時間・距離・明暗などを表す場合には、英語でどのような表現を用いて、習慣や天気などについて適切に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ①日本語で主語が示されない場合 ②日本語で「～は」「～が」と表現される語句が、英語では主語に相当しない場合 ③天候・時間・距離・明暗などを表す場合には、英語でどのような表現を用いるのか気付き、これらの文法を用いて粘り強く、主体的に他者に伝えようとしている。	○	○	○	4
Lesson 2 はじめに② 動詞をうまく使おう 【知識及び技能】 場面や目的に応じた動詞の使い方を理解し、適切に補うことができる。 【思考力・判断力・表現力等】 場面や目的に応じて、適切な動詞を用いて、自分の考えを伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 動詞の意味に自ら関心を持ち、英語で伝える意欲を高めることができる。	表現したい内容に合致した適切な意味をもつ動詞を確認し、問題を解く。 表現したい内容に合致した適切な意味をもつ動詞を選択し、日常生活について英作文や会話をする。	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 表現したい内容に合致した適切な意味をもつ動詞を理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 場面や目的に応じて、適切な動詞を用いて、自分の考えを伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 動詞の意味に自ら関心を持ち、英語で伝える意欲を高めることができる。	○	○	○	4
Lesson 3 はじめに③ 名詞の数などに気をつけよう 【知識及び技能】 名詞の性質や冠詞の用法を理解し、正しく使うことができる。 【思考力・判断力・表現力等】 名詞の性質や冠詞の用法を適切に用いて、自分の考えを伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 名詞や冠詞に自ら関心を持ち、英語で伝える意欲を高めることができる。	名詞の性質や冠詞の用法を確認し、問題を解く。 名詞の性質や冠詞の用法を用いて、友人や食べ物などの、身の回りのことについて英作文や会話をする。	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 名詞の性質や冠詞の用法を理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 名詞の性質や冠詞の用法を用いて、友人や食べ物などの、身の回りのことについて適切に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 名詞の性質や冠詞の用法に自ら気付き、それを用いて粘り強く、主体的に他者に伝えようとしている。	○	○	○	4
Lesson 4 My Friends 【知識及び技能】 肯定文、否定文、疑問文の使い方を理解し、正しく使うことができる。 【思考力・判断力・表現力等】 肯定文、否定文、疑問文を適切に用	英語で「肯定」「否定」を表す文や、「疑問文」にはどのような表現を用いるのかを確認し、問題を解く。 英語で「肯定」「否定」を表す文や、「疑問文」にはどのような表現を用いて、友人や身近な人につ						【知識及び技能】 肯定文、否定文、疑問文の使い方を理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 肯定文、否定文、疑問文を用いて友人や身近な人について適切に表現することができる。				

【学 期】	いて、自分の考えを伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 肯定文、否定文、疑問文に自ら関心を持ち、英語で伝える意欲を高めることができる。		○	○	○	○	○	【字ひに何かつ刀、人間性等】 肯定文、否定文、疑問の使い方を自ら気付き、それらの文法を用いて粘り強く、主体的に他者に伝えようとしている。	○	○	○	4
定期考査(中間)									○	○		1
Lesson 10 Famous People 【知識及び技能】 文型の使い方を理解し、正しく使うことができる。 【思考力・判断力・表現力等】 文型を適切に用いて、自分の考えを伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 文型に自ら関心を持ち、英語で伝える意欲を高めることができる。	「～は…に見える」「～に…を与える」「～を…にする」などを英語で表すにはどのような表現を使うのか確認し、問題を解く。 「～は…に見える」「～に…を与える」「～を…にする」などを用いて、有名人などについて英作文や会話をする。		○	○	○	○	○	【知識及び技能】 「～は…に見える」「～に…を与える」「～を…にする」など(文型)を英語で表すにはどのような表現を使うのか理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 「～は…に見える」「～に…を与える」「～を…にする」など(文型)を用いて、有名人などについて適切に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 「～は…に見える」「～に…を与える」「～を…にする」などの文型の使い方に自ら気付き、それらの文法を用いて粘り強く、主体的に他者に伝えようとしている。	○	○	○	4
Lesson 5 My family 【知識及び技能】 現在形、現在進行形、過去形、過去進行形の使い方を理解し、正しく使うことができる。 【思考力・判断力・表現力等】 現在形、現在進行形、過去形、過去進行形を用いて、自分の考えを伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 現在形、現在進行形、過去形、過去進行形に自ら関心を持ち、英語で伝える意欲を高めることができる。	適切な場面において、①「いつも[よく]～する」(現在形) ②「今～している」(現在進行形) ③「過去に～(よく)した」(過去形) ④「過去に～していた」(過去進行形)のそれぞれの表現を確認し、問題を解く。 適切な場面において、①「いつも[よく]～する」(現在形) ②「今～している」(現在進行形) ③「過去に～(よく)した」(過去形) ④「過去に～していた」(過去進行形)のそれぞれの表現を用いて、家族や身の回りの人について英作文や会話をする。		○	○	○	○	○	【知識及び技能】 ①「いつも[よく]～する」(現在形) ②「今～している」(現在進行形) ③「過去に～(よく)した」(過去形) ④「過去に～していた」(過去進行形)のそれぞれの表現を理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 ①「いつも[よく]～する」(現在形) ②「今～している」(現在進行形) ③「過去に～(よく)した」(過去形) ④「過去に～していた」(過去進行形)のそれぞれの表現を用いて、家族や身の回りの人について適切に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ①「いつも[よく]～する」(現在形) ②「今～している」(現在進行形) ③「過去に～(よく)した」(過去形) ④「過去に～していた」(過去進行形)のそれぞれの使い方に自ら気付き、それらの文法を用いて粘り強く、主体的に他者に伝えようとしている。	○	○	○	4
Lesson 6 Pasttime 【知識及び技能】 未来表現の使い方を理解し、正しく使うことができる。 【思考力・判断力・表現力等】 未来表現を用いて、自分の考えを伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 未来表現に自ら関心を持ち、英語で伝える意欲を高めることができる。	英語で「未来」の意味を表すにはどのような表現を用いるのかを確認し、問題を解くことができる。 英語で「未来」の意味を表す表現を用いて、余暇の予定や計画などについて英作文や会話をする。		○	○	○	○	○	【知識及び技能】 英語で「未来」の意味を表すにはどのような表現を用いるのかを理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 英語で「未来」の意味を表す表現を用いて、余暇の予定や計画などについて適切に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 英語で「未来」の意味を表す表現の使い方に自ら気付き、それらの文法を用いて粘り強く、主体的に他者に伝えようとしている。	○	○	○	4
定期考査(期末)									○	○		1
Lesson 7 My town 【知識及び技能】 完了形の使い方を理解し、正しく使うことができる。 【思考力・判断力・表現力等】 完了形を用いて、自分の考えを伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 完了形に自ら関心を持ち、英語で伝える意欲を高めることができる。	英語で「完了・結果」「経験」「状態の継続」「動作の継続」の意味を表すにはどのような表現を用いるのかを確認し、問題を解く。 英語で「完了・結果」「経験」「状態の継続」「動作の継続」の意味を表すにはどのような表現を用いて、自分の町や身の状況について英作文や会話をする。		○	○	○	○	○	【知識及び技能】 英語で「完了・結果」「経験」「状態の継続」「動作の継続」の意味を表すにはどのような表現を用いるのかを理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 英語で「完了・結果」「経験」「状態の継続」「動作の継続」の意味を表すにはどのような表現を用いて、自分の町や身の状況について適切に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 英語で「完了・結果」「経験」「状態の継続」「動作の継続」の意味を表す表現の使い方に自ら気付き、それらの文法を用いて粘り強く、主体的に他者に伝えようとしている。				4
Lesson 8 Our teachers 【知識及び技能】 助動詞(能力・許可・推量)の使い方を理解し、正しく使うことができる。 【思考力・判断力・表現力等】	能力・許可・推量などの意味を英語で表現するにはどのような表現を用いるのか確認し、問題を解く。 能力・許可・推量などの英語を用いて、先生や学校での生活について英作文や会話をする。							【知識及び技能】 能力・許可・推量などの意味を英語で表現するにはどのような表現を用いるのか理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 能力・許可・推量などの英語を用いて、先生や学校での生活について適切に表現				

2 学 期	助動詞(能力・許可・推量)を用いて、自分の考えを伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 助動詞(能力・許可・推量)に自ら関心を持ち、英語で伝える意欲を高めることができる。		○	○	○	○	○	【学びに向かう力、人間性等】 能力・許可・推量などを英語でどのように表現したらよいのか自ら気づき、それらの文法を用いて粘り強く、主体的に他者に伝えようとしている。				4
	Lesson 9 Visiting Museum 【知識及び技能】 助動詞(助言・義務、必要・不必要、禁止、過去に関する推量・後悔)の使い方を理解し、正しく使うことができる。 【思考力・判断力・表現力等】 助動詞(助言・義務、必要・不必要、禁止、過去に関する推量・後悔)を用いて、自分の考えを伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 助動詞(助言・義務、必要・不必要、禁止、過去に関する推量・後悔)に自ら関心を持ち、英語で伝える意欲を高めることができる。	英語で「助言・義務」「必要・不必要」「禁止」「過去に関する推量・後悔など」の意味を表すにはどのような表現を用いるのかを確認し、問題を解く。 必要・義務や、過去についての推量・後悔などの英語を用いて、催し物や行動・活動などについて英作文や会話をする。	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 英語で「助言・義務」「必要・不必要」「禁止」「過去に関する推量・後悔など」の意味を表すにはどのような表現を用いるのかを理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 必要・義務や、過去についての推量・後悔などの英語を用いて、催し物や行動・活動などについて適切に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 助言・義務、必要・不必要、禁止、過去に関する推量・後悔などを英語でどのように表現したらよいのか自ら気づき、それらの文法を用いて粘り強く、主体的に他者に伝えようとしている。				4
	定期考査(中間)								○	○		1
	Lesson 11 Reading 【知識及び技能】 受動態の使い方を理解し、正しく使うことができる。 【思考力・判断力・表現力等】 受動態を用いて、自分の考えを伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 受動態に自ら関心を持ち、英語で伝える意欲を高めることができる。	英語で「受け身」の意味を表すにはどのような表現を用いるのかを確認し、問題を解くこと。 英語で「受け身」の意味を表す英語を用いて、読書や感情に関連する事柄などについて英作文や会話をする。	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 英語で「受け身」の意味を表すにはどのような表現を用いるのかを理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 英語で「受け身」の意味を表す英語を用いて、読書や感情に関連する事柄などについて適切に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 英語で「受け身」の意味を表すにはどのような表現を用いるのか自ら気づき、それらの文法を用いて粘り強く、主体的に他者に伝えようとしている。	○	○	○	4
	Lesson 12 Studying Abroad 【知識及び技能】 不定詞の使い方を理解し、正しく使うことができる。 【思考力・判断力・表現力等】 不定詞を用いて、自分の考えを伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 不定詞に自ら関心を持ち、英語で伝える意欲を高めることができる。	英語で「～すること」「～することは…だ」「～する方法」「～するための[～すべき]」の意味を表すにはどのような表現を用いるのかを確認し、問題を解く。 英語で「～すること」「～することは…だ」「～する方法」「～するための[～すべき]」の意味を表す表現を用いて、希望や目標、物事を行う方法などについて英作文や会話をする。	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 英語で「～すること」「～することは…だ」「～する方法」「～するための[～すべき]」の意味を表すにはどのような表現を用いるのかを理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 英語で「～すること」「～することは…だ」「～する方法」「～するための[～すべき]」の意味を表す表現を用いて、希望や目標、物事を行う方法などについて適切に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 英語で「～すること」「～することは…だ」「～する方法」「～するための[～すべき]」の意味を表すにはどのような表現を用いるのか自ら気づき、それらの文法を用いて粘り強く、主体的に他者に伝えようとしている。	○	○	○	4
	Lesson 13 Advice 【知識及び技能】 不定詞の使い方を理解し、正しく使うことができる。 【思考力・判断力・表現力等】 不定詞を用いて、自分の考えを伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 不定詞に自ら関心を持ち、英語で伝える意欲を高めることができる。	「～するために」「～して」などや「…に～するよう頼む」「…が～するのを見る」などの意味を表すにはどのような表現を用いるのかを理解し、問題を解く。 「～するために」「～して」などや「…に～するよう頼む」「…が～するのを見る」などの意味を表す英語を用いて、英作文や会話をする。	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 「～するために」「～して」などや「…に～するよう頼む」「…が～するのを見る」などの意味を表すにはどのような表現を用いるのかを理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 「～するために」「～して」などや「…に～するよう頼む」「…が～するのを見る」などの意味を表す英語を用いて、助言や頼み事などについて適切に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 「～するために」「～して」などや「…に～するよう頼む」「…が～するのを見る」などの意味を表すにはどのような表現を用いるのか自ら気づき、それらの文法を用いて粘り強く、主体的に他者に伝えようとしている。	○	○	○	4
	定期考査(期末)								○	○		1
	Lesson 14 Hobbies 【知識及び技能】 不定詞と動名詞の使い方を理解し、正しく使うことができる。 【思考力・判断力・表現力等】 不定詞と動名詞を用いて、自分の考えを伝えることができる。	「～すること」などを英語で表すにはどのような表現を用いるのかを理解し、問題を解く。 「～すること」などを表す英語を用いて、趣味やその他の日常の活動について英作文や会話をする。						【知識及び技能】 「～すること」などを英語で表すにはどのような表現を用いるのか理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 「～すること」などを表す英語を用いて、趣味やその他の日常の活動について英作文や会話をする。				

	不定詞と動名詞を用いて、自分のものの考えを伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 不定詞と動名詞に自ら関心を持ち、英語で伝える意欲を高めることができる。		○	○	○	○	○	て、趣味やその他の日々の活動について適切に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 「～すること」などを英語で表すにはどのような表現を用いるのか自ら気づき、それらの文法を用いて粘り強く、主体的に他者に伝えようとしている。	○	○	○	4
3 学 期	Lesson 15 My Vacation 【知識及び技能】 分詞の使い方を理解し、正しく使うことができる。 【思考力・判断力・表現力等】 分詞を用いて、自分のもの考えを伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 分詞に自ら関心を持ち、英語で伝える意欲を高めることができる。	英語で「～している…」や「～された…」と名詞を説明する場合や、「～しながら…する」、「～しているのを…する」などの意味を表す英語を用いて、休暇での出来事などについて適切に表現することができる。 英語で「～している…」や「～された…」と名詞を説明する場合や、「～しながら…する」、「～しているのを…する」などの意味を表す英語を用いて、英作文や会話をする。	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 分詞の使い方を理解し、正しく使うことができる。 【思考力・判断力・表現力等】 分詞を用いて、自分のもの考えを伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 分詞に自ら関心を持ち、英語で伝える意欲を高めることができる。	○	○	○	4
	Lesson 16 In a Zoo 【知識及び技能】 比較級の使い方を理解し、正しく使うことができる。 【思考力・判断力・表現力等】 比較級を用いて、自分の考えを伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 比較級に自ら関心を持ち、英語で伝える意欲を高めることができる。	英語で「同じくらい～である」や「…ほど～でない」、「…より～である」などの意味を表すにはそれぞれどのような表現を用いるのかを理解し、問題を解く。 英語で「同じくらい～である」や「…ほど～でない」、「…より～である」などの意味を表す表現を用いて、動物の特徴や人の行動について英作文や会話をする。	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 英語で「同じくらい～である」や「…ほど～でない」、「…より～である」などの意味を表すにはそれぞれどのような表現を用いるのかを理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 英語で「同じくらい～である」や「…ほど～でない」、「…より～である」などの意味を表す表現を用いて、動物の特徴や人の行動について適切に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 英語で「同じくらい～である」や「…ほど～でない」、「…より～である」などの意味を表すにはそれぞれどのような表現を用いるのか自ら気づき、それらの文法を用いて粘り強く、主体的に他者に伝えようとしている。	○	○	○	5
	定期考査(年度末)								○	○		1
									合計			70